

Canon

IXY310



はじめに

基本編

応用編

資料編



J
日本語版

使用説明書

キヤノン製品のお買い上げありがとうございます。
カメラをご使用の前にこの使用説明書をよくお読みになり、カメラを手に取りながら操作に慣れたうえで、正しくお使いください。

目次

●本書の構成

この使用説明書は、はじめに、基本編、応用編、資料編と段階的に分類してあります。初めてカメラをお使いになる方は「はじめに」から順にお読みください。

■本文中のマークについて



撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項などが書かれています。



カメラの基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書かれています。

はじめに

目次	2
安全上のご注意	4
Advanced Photo System (APS) の特長	8
APS早わかり	10
操作早わかり	12
各部の名称	14
ストラップ・ケースの取り付けと使い方	17

基本編

① カートリッジを入れる	18
② 電源を入れる	20
電池をチェックする	21
③ カメラを構える	22
④ ファインダーをのぞく	23
近距離撮影範囲枠について	24

⑤	プリントタイプを切り換える (C/H/P) ...	25
⑥	シャッターをきる	26
	緑ランプ/オレンジランプについて	27
	ガラス越しの撮影について	27
⑦	カートリッジを取り出す	28
	現像・プリントに出すには	29
	撮影後のカートリッジの取り扱い等について	29
⑧	電池を交換する	30

応用編

	フォーカスロック撮影 (写したいものをファインダーの端に置いて撮影する) ...	31
	日付/時刻を記録する	32
	日付モードの切り換え	33
	日付/時刻を設定・修正する	34
	タイトルを記録する	36
	各言語のタイトルを選ぶ	37
	ストロボモードを変える	38
	①ストロボオート/赤目緩和なし	39
	②ストロボオート/赤目緩和	40
	③ストロボONモード	41
	④ストロボOFFモード	42
	⑤スローシンクロ/赤目緩和	43
	セルフタイマー撮影	44
	リモコン (別売) を使った撮影	45
	リモコンの電池交換	46

資料編

	フィルム感度と最大撮影枚数の確認方法	47
	赤目緩和撮影機能について	47
	こんなときは	48
	Q&A	49
	主な仕様	50
	アフターサービスについて	裏表紙

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。

その他の絵表示の例 行為を禁止する記号



禁止



接触禁止

- 記号は、行為を禁止する内容を告げるものです。
- の中に具体的な禁止内容が書かれています。



警告（電池について）



このカメラで指定されていない電池は、使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



電池を火の中に入れてたり、分解、加熱、ショートは絶対しないでください。また、水の中に入れてたりしないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



アルカリ電池、リチウム電池など充電できない電池を無理に充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



電池を取り外した場合は、お子様の手の届かないところへ置いてください。万一、飲み込んだ場合、電池が壊れて電池の液で胃、腸等が冒される恐れがありますので、ただちに医師と相談してください。



万一、カメラ（電池）が熱くなる、煙がでる、焦げ臭い等の異常状態が起こった場合、そのまま使用すると火災、火傷の原因になります。火傷には、十分注意しながら速やかに電池を取り出し、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。



電池を廃棄する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。廃却の際、他の金属と混じると、発火、破裂の原因となります。



電池の「+」と「-」の接点を正しく入れてください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



警告（ストロボについて）



車の運転者等にむけてストロボを発光しないでください。事故の原因となります。









ストロボを人の目に近づけて発光しないでください。目の近くでストロボを発光すると視力障害を起こす危険性があります。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。








ストロボの発光部分を手で覆ったまま発光しないでください。また、連続発光後、ストロボ部に触らないでください。火傷の原因となります。

警告（その他取り扱いについて）

-  自分でカメラを分解、改造しないでください。高電圧がかかり感電する原因となることがあります。内部の点検、調整、修理はお買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。
-  落下等により、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。さらに、内部が露出した際は、絶対に手を触れないでください。高電圧がかかり感電する原因となります。速やかに、お買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。
-  カメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。
-  カメラは、乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。
-  湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。火災、感電の原因となります。
-  自動車などの運転中に運転者は、カメラを絶対に操作しないでください。交通事故の原因となります。

注意（その他取り扱いについて）

-  カメラ（特に金属製のもの）を高温状態の車の中に放置したり、熱いものの近くに置いたりしないでください。カメラ自体が高温になり、触ると火傷の原因となることがあります。
-  カメラ（特に金属製のもの）を低温状態中に放置したりしないでください。カメラ自体が低温になり、触るとけがの原因となることがあります。
-  カメラをストラップで下げているときは、他の物に引っ掛かったりしないように注意してください。けがをする原因となることがあります。
-  カメラを三脚に取り付けたまま移動しないでください。つけたまま移動するとつまずいたり、ぶついたりしてけがや事故の原因となることがあります。また、三脚はカメラに対して十分に強度のあるものをご使用ください。
-  万一、カメラごと水に落としたり、内部に水が入った場合は、電池を抜いて、速やかに、お買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



アドバンスド フォト システム Advanced Photo System

このカメラはAdvanced Photo System (以下APSと呼ぶ) 対応のカメラです。このAPSとキヤノンの先進の小型化技術により、従来のカメラよりさらに小型のカメラを実現させました。APSの特に新しい特長をご紹介します。

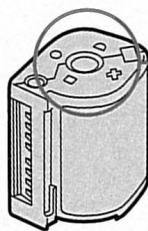
① 新・フィルム

新フィルム「IX240フィルムカートリッジ」はリーダー部分のない小型「カートリッジ」を使用。これにより今までわずらわしかったフィルムの出し入れが、誰にでも手軽に行えるようになりました。

また、フィルムが未使用(○)か撮影済(☒)、もしくは現像済(□)かどうか使用状態マーク面の使用状態マークによって見分けることができます。

★このカメラで撮影したカートリッジは、撮影途中(D)のマークにはなりません。

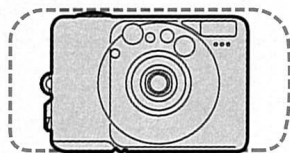
使用状態マーク



- 未使用
- D 撮影途中
- ☒ 撮影済
- 現像済

② 新・カメラサイズ

APSによってフィルムカートリッジのサイズが小型になり、カメラ本体も従来のカメラより、さらに小型になりました(当社比)。特にこのカメラのサイズはキヤノンの小型化技術により実現したものです。

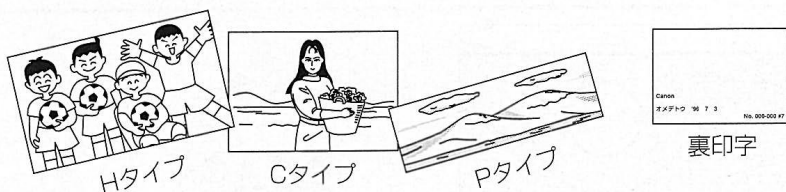


(APS) の特長

③ 新・プリントタイプ

従来のプリントタイプ（Cタイプ）に加え、ワイドなHタイプ、パノラマのPタイプの3種類の撮影が可能になりました。また撮影日時を写真の裏面または両面に、タイトル文字を写真の裏面に印字することができるようになりました。

★文字の大きさ、形状、色、印字位置、両面印字の可否などは、現像店によって変わる場合があります。



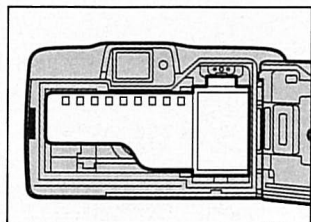
④ 新・写真現像法

従来の135（35mm）フィルムは現像すると、フィルムはネガシートに入った状態で返却され、再注文（焼き増し）をするときは、ネガを光に透かすなどして、1枚1枚の写真を確認していました。しかしこのAPSでは、認定店へ現像に出せばネガはカートリッジに巻き込まれた状態でインデックスプリントとともに返却されます。従来のような見にくいネガではなく、このインデックスプリント（撮った写真がすべて一覧できるプリント）を見てどれを焼き増しをするか選びます。焼き増しをするときは、焼き増しをしたい写真の裏面またはインデックスプリントに書かれているIDナンバーと同じIDナンバーのカートリッジを現像店に持っていき、焼き増ししたい写真を番号で指定するシステムです。

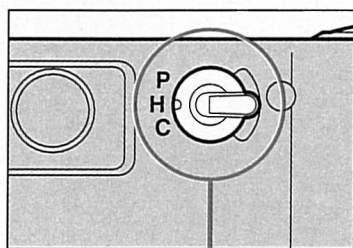
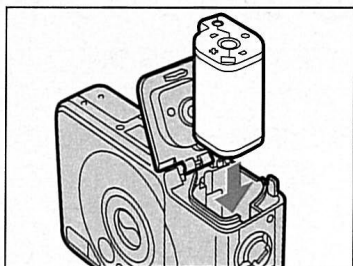


はじめに

APS早わかり 詳しくは説明のページを



従来のフィルム



プリントタイプ切り換えレバー



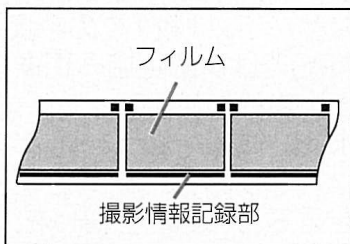
Cタイプ



Hタイプ



Pタイプ

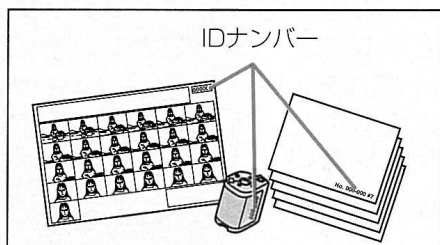


フィルムに記録される情報例

- ・日付やタイトル
 - ・プリントタイプ
 - ・フィルムの天地
 - ・ストロボON/OFF
 - ・写したものの明るさ
- など



認定店のマーク



IDナンバー

ご覧ください。

① カートリッジフィルムの出し入れは
ワンタッチです。 →18ページ

- 従来の135 (35mm) フィルムのように背ぶたを開けて、フィルムのリード部分を引き出したりするなどの面倒な準備は必要ありません。

② プリントタイプ切り換えレバーでプリント
タイプを決められます。 →25ページ

→ プリントタイプが3つ選べます。

- 従来と同じCタイプ
- ワイドなHタイプ
- パノラマのPタイプ

③ いろいろな磁気情報 (IX情報) がフィルム
に記録されます。

- フィルムには左に挙げたような情報が撮影時に記録されます。
- 撮影時の情報を利用して写真をプリントするため、高品質のプリントが得られます。

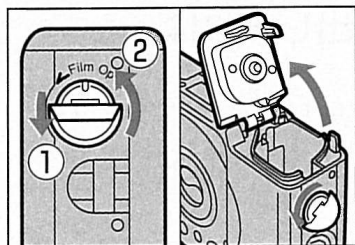
④ 撮り終わったカートリッジは、左のマーク
がある認定店で現像できます。 →29ページ

→ 現像後、写真とインデックスプリント、カートリッジ入りネガが返却されます。

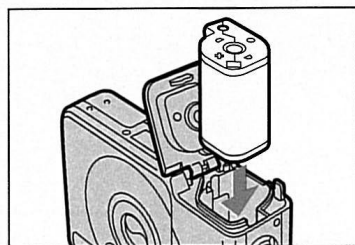
- 認定店で焼き増しをするときは、インデックスプリントまたはプリントの裏面のIDナンバーと同じカートリッジを出し、焼き増しする写真を番号で指定します。

操作早わかり

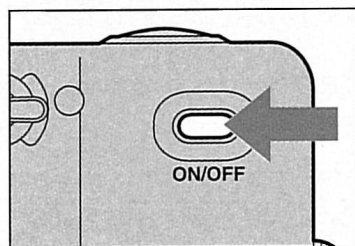
詳しくは説明のページをご覧ください。



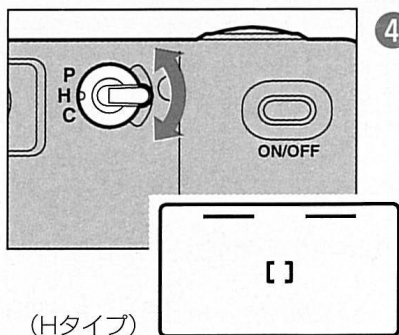
- ① カートリッジ室ぶたを開ける。 →18ページ
 - カートリッジ室ぶた開つまみを起こし①、左に回転させて②、ぶたを開きます。



- ② カートリッジを入れ、ぶたを閉める。 →18ページ
 - カートリッジの使用状態マークが○(未使用)であるかどうかを確認してください。

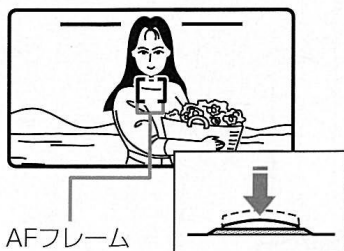


- ③ メインスイッチを押して電源を入れる。 →20ページ
→ レンズがセットされます。



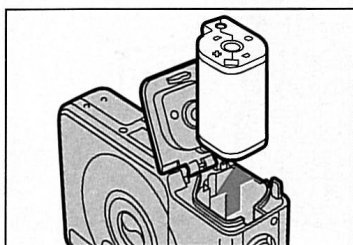
(Hタイプ)

- ④ プリントタイプ切り換えレバーでプリントタイプを決める。 →25ページ
 → ファインダーの画面が切り換わります。



AFフレーム

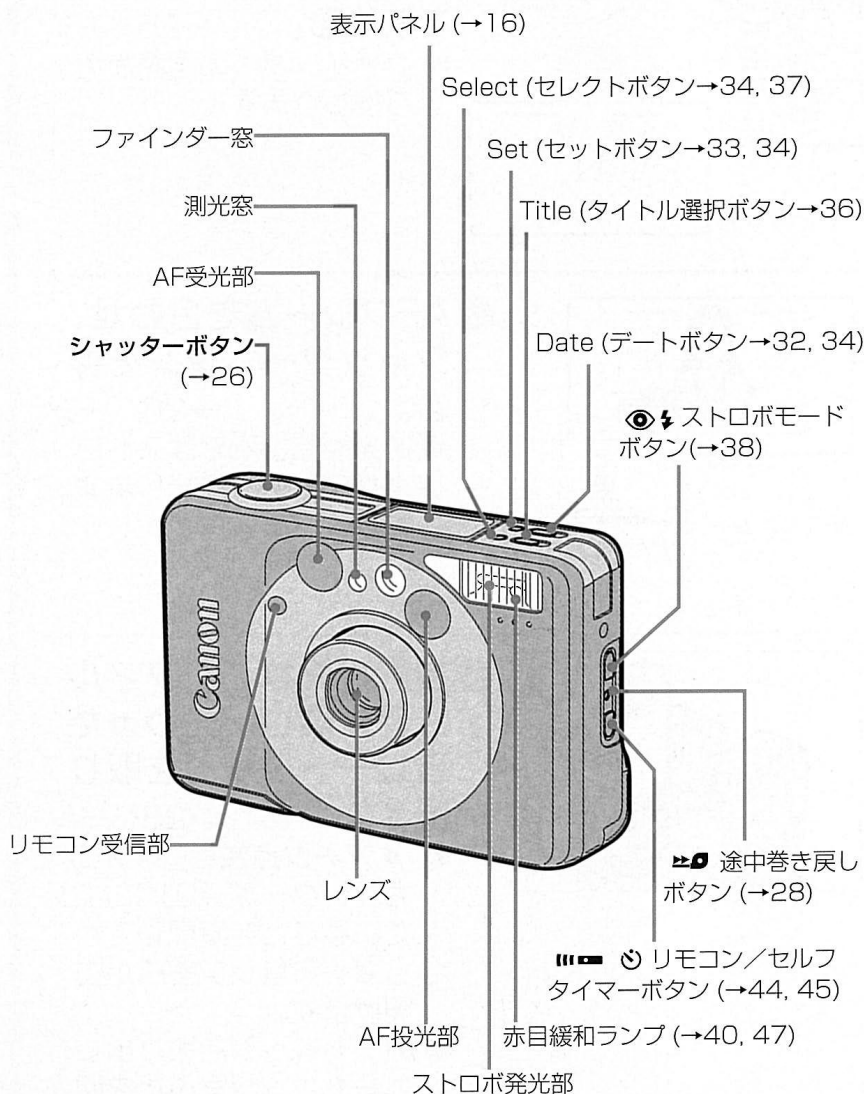
- ⑤ AFフレームを合わせ、シャッターボタンを押す。 →26ページ
 → 逆光や暗い所ではストロボが自動的に発光します。

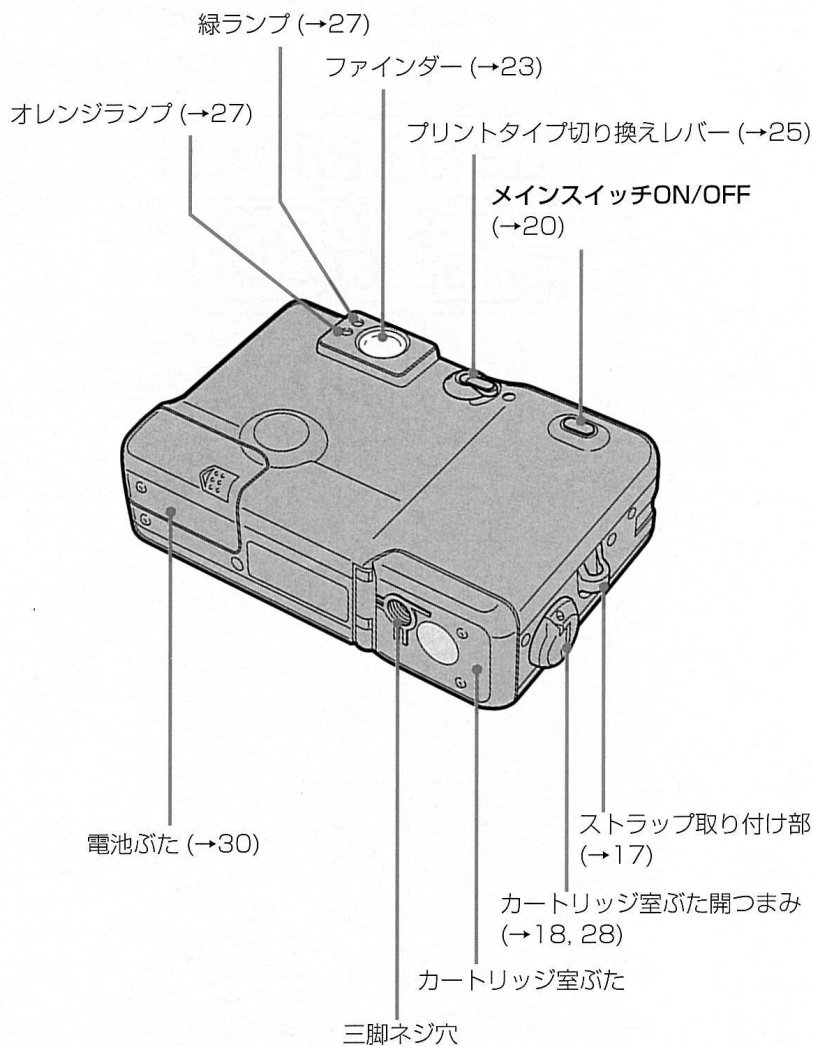


- ⑥ 撮影が終わり、フィルム巻き戻しが終わったらカートリッジを取り出す。 →28ページ
- ● マーク点滅とフィルムカウンターが「0」になっていることを確認してからカートリッジ室ぶたを開けます。
 - カートリッジを取り出し、カートリッジ室ぶたを閉じます。

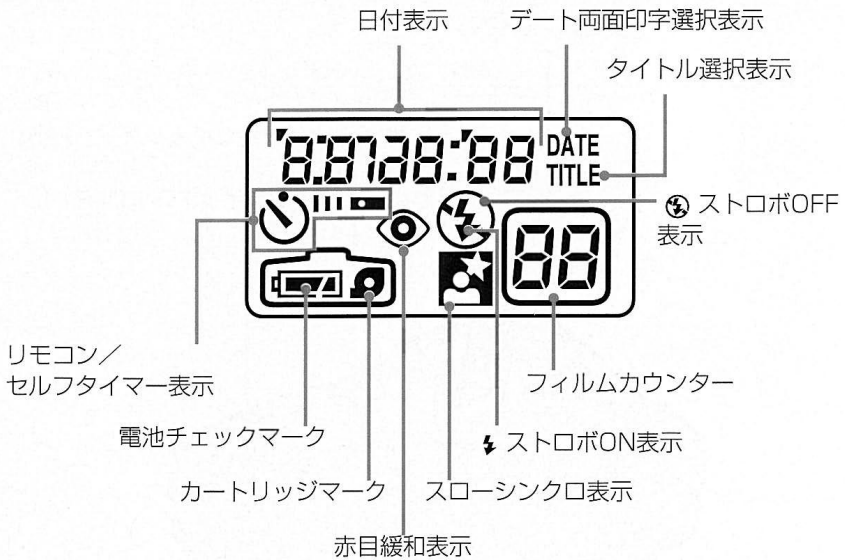
各部の名称

(→ ■) は、参照ページです。



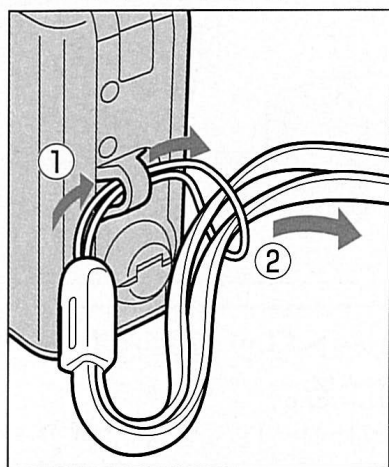


表示パネル (通常は必要な情報だけが表示されます)



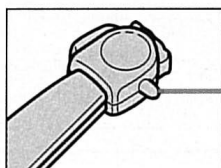
ストラップ・ケースの取り付けと使い方

カメラを落とさないように、付属のストラップをカメラに取り付けて使用してください。



横のストラップ取り付け部にストラップを通す。

- ①～②の順に通します。

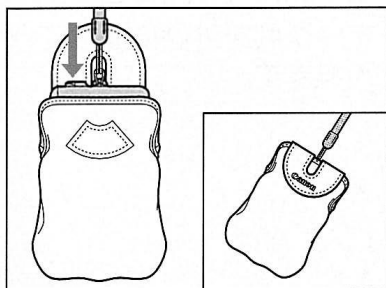


ボタン押し突起



- ボタン押し突起は、Selectボタン (→34ページ)、Setボタン (→33ページ)、途中巻き戻しボタン (→28ページ) の操作に使用してください。

ケースの取り付け方



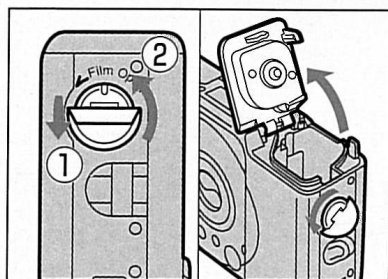
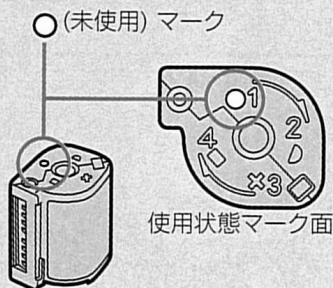
ケースのカバーを開け、カメラを入れる。

- カバーの穴にストラップを通します。
- ケース内側のポケットにリモコン (別売) を収納できます。

1 カートリッジを入れる

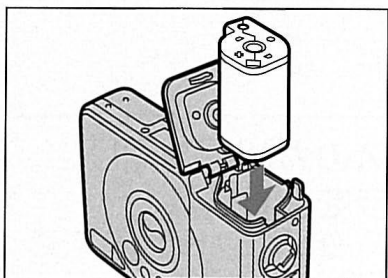
カートリッジフィルムについて

- IX240カートリッジフィルムをご使用ください。
- 従来の135 (35mm) フィルムは使用できません。
- 認定店で現像・プリントができます。
- カートリッジの使用状態マークが○ (未使用) マークであるものをご使用ください。



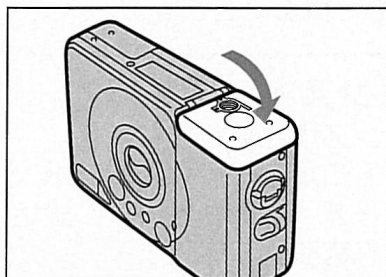
1 カートリッジ室ぶたを開ける。

- カートリッジ室ぶた開つまみを起こし①、左に回転させて②、カメラ底面のぶたを開きます。



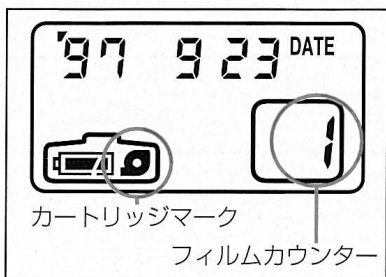
2 新しいカートリッジを入れる。

- カートリッジの使用状態マーク側を外側に向けて入れます。



③ カートリッジ室ぶたを閉める。

- カチッと音がするまで閉じてください。
- ➔ 表示パネルのカートリッジマークが点灯します。

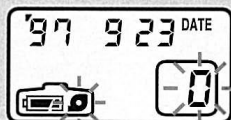


④ 自動的にフィルムが送られフィルムカウンターに「1」が表示される。

- 「1」が表示されないときはカートリッジ室ぶたを開けて、未使用カートリッジが入っているか確認してください。

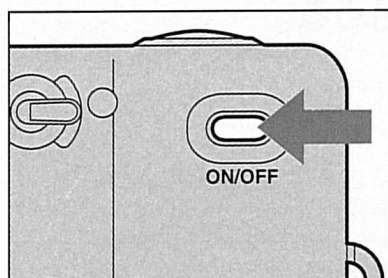


- ☼ や □ (未使用以外) マークのカートリッジを入れると、フィルムカウンターの「0」とカートリッジマークが点滅します。○ (未使用) マークのカートリッジを入れ直してください。
- このカメラは D (撮影途中) マークのカートリッジは使用できません。
- D (撮影途中) マークのカートリッジを入れると、そのカートリッジは ☼ (撮影済) マークになり、それ以上撮影できなくなります。



2 電源を入れる

メインスイッチを押すと電源が入り、撮影できます。



メインスイッチを押す。

- ➔ レンズがセットされます。
- ➔ ストロボモードはストロボオート（全自動撮影）に設定されます。



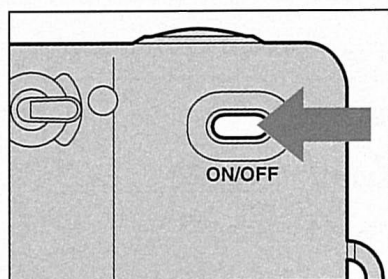
- レンズを手で押さえないでください。



- カートリッジ室ぶたが開いているときは、電源のON/OFFはできません。


電源を切るには

レンズを保護するために、撮影が終わったら電源を切ってください。

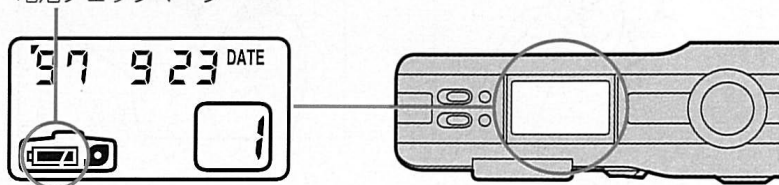


メインスイッチを押す。




電池をチェックする

電源を入れたとき表示パネルに  が表示されていることを確認してください。

電池チェックマーク



電池チェックマーク

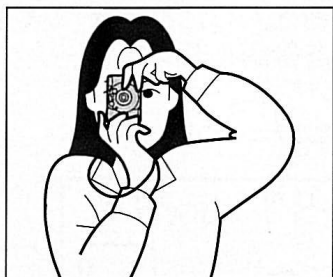
-  (点灯)電池の容量は十分です。
-  (点灯)新しい電池を用意してください。
-  (点滅)新しい電池と交換してください。
(→30ページ)



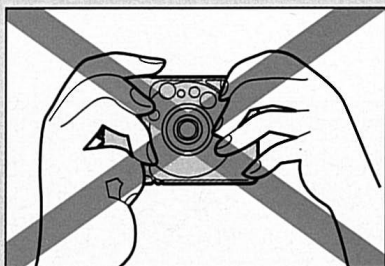
- 電池はリチウム電池CR2タイプを1個使用します。
- 撮影前には必ず電池をチェックしてください。
- 旅行のときや、写真をたくさん撮られるときは、予備の電池をご用意ください。特に海外では電池の入手が困難なことがあります。
- 新品電池の寿命は、25枚撮りカートリッジで約18本(ストロボ50%使用時/当社試験条件による)が目安です。
- ストロボで連続して撮影をすると、電池の能力が一時的に低下し、正しい表示が出ない時があります。一度電源を切り、しばらく待ってから電源を入れ直してください。

3 カメラを構える

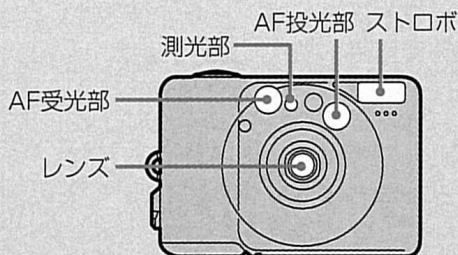
シャープな写真を撮るために、カメラが動かないようにしっかり構えて撮影します。



- 両手でカメラを持ちます。
- ひじを体に軽くつけます。
- カメラを額に付けるようにして、ファインダーをのぞきます。

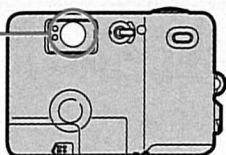


- カメラを構えるときは、レンズ、AF投・受光部、測光部、ストロボなどに髪や指がかからないように注意してください。



4 ファインダーをのぞく

ファインダー



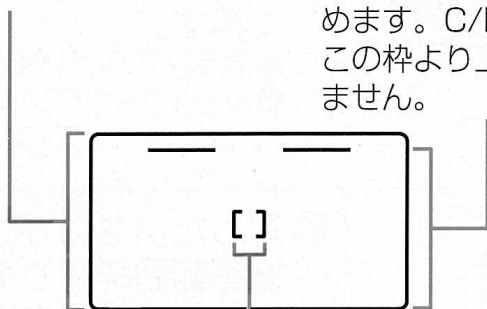
ファインダー内の名称

撮影範囲枠

この枠内で構図を決めます。
(Hタイプ)

近距離撮影範囲枠

撮影距離が0.45~0.6mの
ときはこの枠内で構図を決
めます。C/Hタイプでは、
この枠より上の範囲は写り
ません。 (→24ページ)



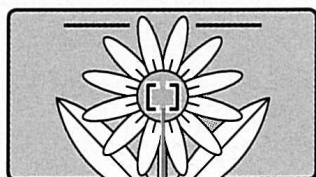
AFフレーム

写したいものにこのマークを
合わせます。

近距離撮影範囲枠について

撮影距離0.45～0.6mでは、ファインダーで見える範囲と実際に写る範囲にずれが生じるため、近距離撮影範囲枠より上は写りません。

撮影距離0.45～0.6mでは、近距離撮影範囲枠を利用して次の手順で撮影してください。



AFフレーム

- ① 写したいものにAFフレームを合わせ、シャッターボタンを軽く押す。

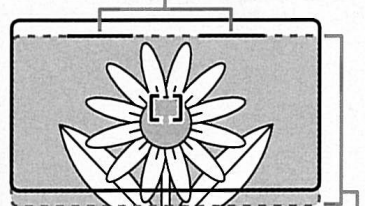
- 緑ランプの点灯を確認する。
- シャッターボタンは軽く押しただまにしておきます。



近距離撮影範囲枠

- ② 写したいものが近距離撮影範囲枠よりも下にくるよう構図を変え、撮影する。

- 写したいものからの距離は変えないでください。



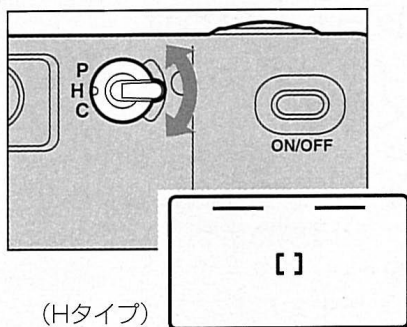
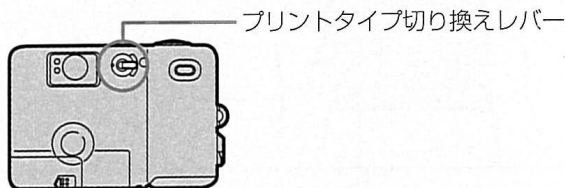
実際に写る範囲



- Pタイプではファインダーで見える範囲と実際に写る範囲のずれが大きいため2m以上離れて撮影してください。

5 プリントタイプを切り換える

このカメラでは、Cタイプ、Hタイプ、Pタイプの3種類のプリントタイプを選ぶことができます。

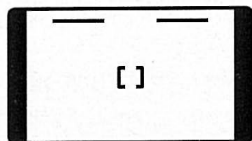


プリントタイプ切り換えレバーでプリントタイプを切り換える。

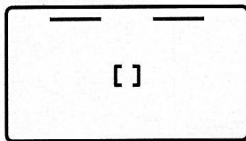
● 一枚毎に途中切り換え可能です。

プリントタイプ切り換えレバーを切り換えることで、ファインダーが変わります。黒い部分はプリントされません。

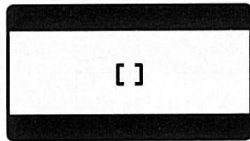
Cタイプ



Hタイプ



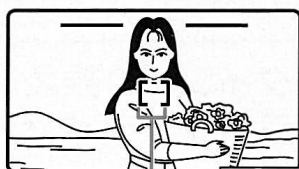
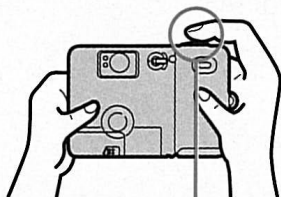
Pタイプ



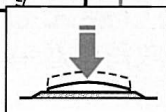
写したいものに合わせ、お好みのプリントタイプを選びます。

6 シャッターをきる

シャッターボタンは二段階になっています。

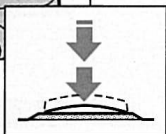
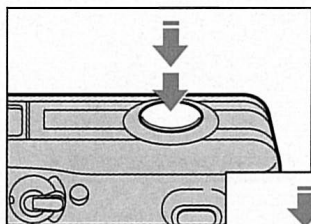


AFフレーム



- ① 写したいものにAFフレームを合わせ、シャッターボタンを軽く押す。

- ➔ ピントが合います。
- 緑ランプが点灯したことを確かめます。
- シャッターボタンは押しただまにしてください。

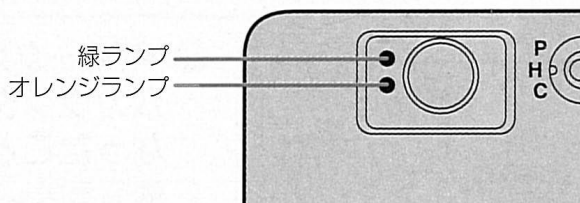


- ② そのままさらにシャッターボタンを押す。

- ➔ シャッターが切れます。
- ゆっくり、静かに押ししてください。
- シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまで、ほんのわずかですが間があります。撮影完了の目安となるフィルム巻き上げ音がするまでカメラを構えたまま動かさないでください。

緑ランプ／オレンジランプについて

シャッターボタンを軽く押したときランプの点灯や点滅で撮影の準備を知らせます。



緑ランプ

点灯：撮影準備完了（ピント合わせ完了）

点滅（4回／秒）：近距離警告※1

オレンジランプ

点灯：ストロボ充電完了

点滅（4回／秒）：手ぶれ警告（ストロボOFF時）※2



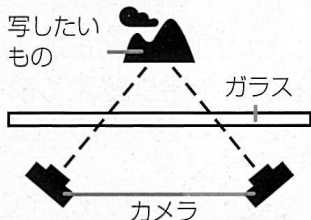
※1 ● 近距離警告が出たら、点滅しない距離まで離れてシャッターボタンを押し直してください。
近距離警告範囲は通常時25～45cm、Pタイプ時25cm～2mです。25cmより近づいた場合でも緑ランプが点灯する場合があります。近づかないようご注意ください。

※2 ● 手ぶれ警告が出たら三脚などの使用をおすすめします。



ガラス越しの撮影について

● ガラス越しで撮影するときは、カメラをできるだけガラス面に近づけて、斜めの位置から撮影してください。これ以外の条件で撮影するとガラスにピントが合うことがあります。

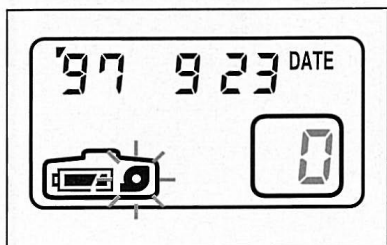



7 カートリッジを取り出す

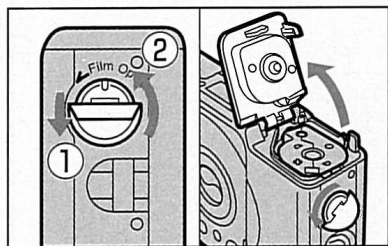
フィルムを最後まで撮り終わると自動的にフィルムが巻き戻されます。

巻き戻し中は、フィルムカウンターの数値が減っていきます。

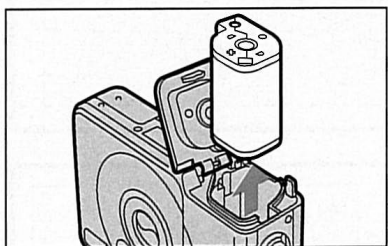
●マーク点滅とフィルムカウンターが「0」になったことを確認してから、カートリッジを取り出してください。




- ① ●マーク点滅とフィルムカウンターが「0」になったことを確かめる。
- 巻き戻しが途中で停止したときはフィルム途中巻き戻しボタン  を押してください。





- ② カートリッジ室ぶたを開ける。
- カートリッジ室ぶた開つまみを起こし①、左に回転させて②、ぶたを開きます。

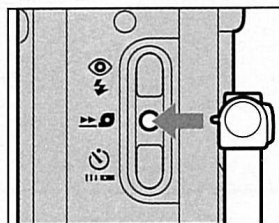


- ③ カートリッジを取り出す。
- ➔表示パネルのカートリッジマークが消えます。
 - ➔カートリッジの使用状態マークが  (撮影済) になります。

フィルムを撮り終わる前に取り出すには

- フィルム途中巻き戻しボタン  を押します。

➔カートリッジの使用状態マークが  (撮影済) マークになります。



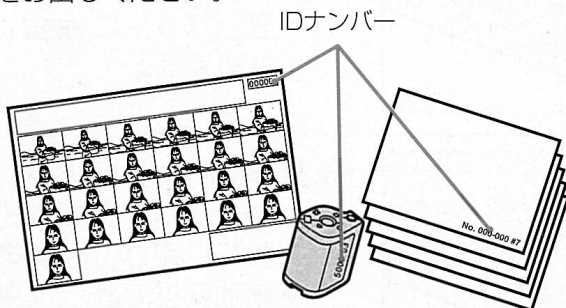
現像・プリントに出すには

- 店頭で右のマークがある認定店に出すと現像・プリントができます。
- ★ 認定店では以下のサービスを受けることができます。
 - ① カートリッジ入りネガの返却
 - ② 3種類のプリントタイプ
 - ③ インデックスプリントの作成
 - ④ プリント品質の向上
 - ⑤ 日付・タイトルの裏印字




撮影後のカートリッジの取り扱い等について

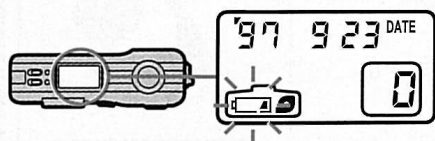
- 認定店で焼き増しをするときは、焼き増しをしたい写真の裏面、またはインデックスプリントに書かれているIDナンバーとカートリッジのIDナンバーが同じかどうかを確認の上、カートリッジをお出しください。



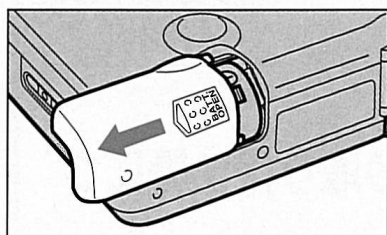
- 現像後に返却されるカートリッジとインデックスプリントは大切に保管してください。
- 途中で巻き戻したカートリッジと撮影が終わったカートリッジのマークは ☹ (撮影済) に、現像が終わったカートリッジの使用状態マークは □ (現像済) になります。○ (未使用) 以外のカートリッジは、このカメラで使用することはできません。
- カメラやカートリッジをテレビやスピーカーなど、強い磁力を発生する機器に近づけないでください。

8 電池を交換する


表示パネルに  が点滅したときは、新しい電池と交換してください。 →21ページ

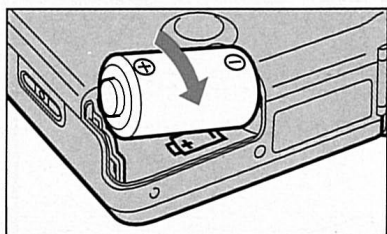


〔使用電池〕
リチウム電池CR2タイプ
1個使用




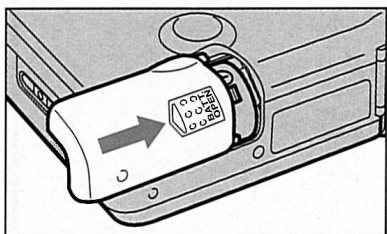
① 電池ぶたを開く。

- 電池ぶたの  表示を押しながらか、電池ぶたをスライドさせて取り外します。



② 新しい電池を入れる。

- + を正しく合わせて新しい電池を入れます。
- ➔ 表示パネルに  が表示されます。



③ 電池ぶたを閉じる。

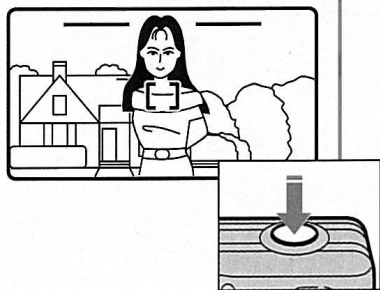
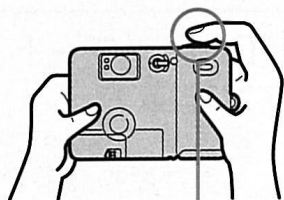
- 電池ぶたをスライドさせながら取り付けます。
- ➔ 電池交換で表示パネルの日付が「-- --」で点滅したときは、日付と時刻を設定し直してください。(→34ページ)



- 電池を抜いてからカメラのスイッチを何も押さないようにして約5秒以内に電池を交換すると、日付/時刻がそのまま保持されます。

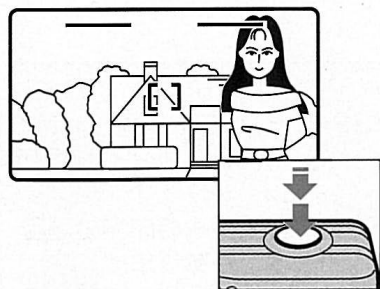
フォーカスロック撮影

写したいものをファインダーの端において撮影するときは、フォーカスロック撮影をします。



- ① 写したいものにAFフレームを合わせ、シャッターボタンを軽く押す。

- ➔ ピントが合うと緑ランプが点灯します。
- シャッターボタンは軽く押したままにしてください。



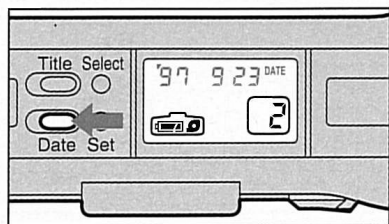
- ② 軽く押したまま構図を決め、さらにシャッターボタンを押す。
- ➔ シャッターが切れます。



● 写したいものとカメラの距離が変わらないようにご注意ください。距離が変わったときは、やり直してください。

日付／時刻を記録する

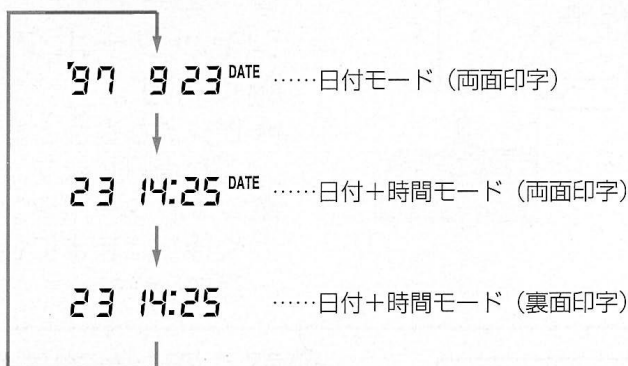
撮影した日付や時刻を写真の裏面もしくは両面に印字することができます。



① Date (デート) ボタンを押す。

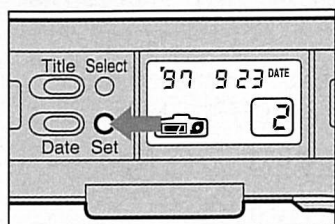
- ボタンを押すたびにモードが変わります。

Dateボタンの切り換え



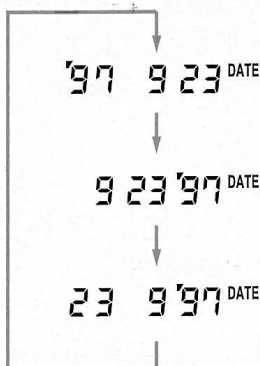
- 日付+時間モードでは日時分 (23 14:25) 表示ですが、印字は日付モードで選択 (→33ページ) した年月日／月日年／日月年と時分の組み合わせ (例: '97 9 23 14:25)で行われます。
- 文字の大きさ、形状、色、印字位置、両面への印字の可否は現像・プリント店によって変わる場合があります。
- 日付・時刻とタイトルは、フィルムに写し込むのではなくフィルムにカメラが磁気記録したデータ (IX情報) を元に、プリント時に印字されるものです。
- 写真の裏面には日付や時刻のほかに、カートリッジのIDナンバーとその写真が、ネガの何枚目かを表すコマ数が印字されます。

日付モードの切り換え



日付モードでSet（セット）ボタンを押し、日付の種類を変える。

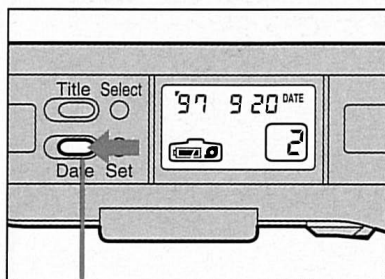
- ストラップ止め具のボタン押し突起を使用します。
- 年月日→月日年→日月年の順に表示が切り換わります。



日付／時刻を設定・修正する

電池を交換したときや海外旅行などで日付／時刻を設定・修正するときは次のような手順で行なってください。

電池交換で日付が「-- --」点滅表示になったときは②の操作から始めてください。

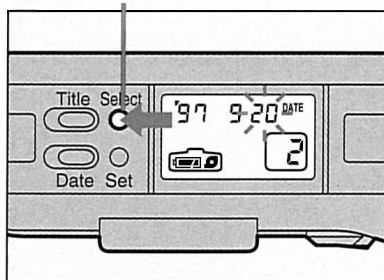


デートボタン

① Date (デート) ボタンを押す。日付モードを表示する。

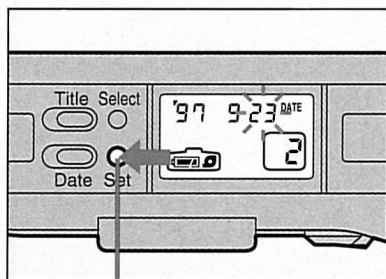
- 時刻の修正は日付＋時間モードで行います。
(→35ページ⑤)

セレクトボタン



② Select (セレクト) ボタンを押す。

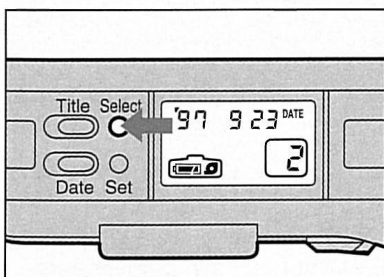
- ストラップ止め具のボタン押し突起を使用します。
- 電池を交換したときは、「-- --」点滅表示が「97 1 1」となります。
- 修正する数字を点滅させます。



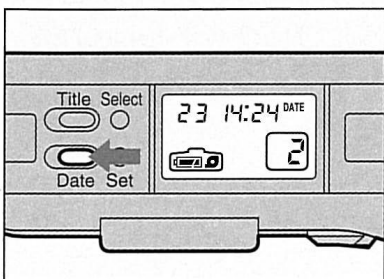
セットボタン

③ Set (セット) ボタンを押す。

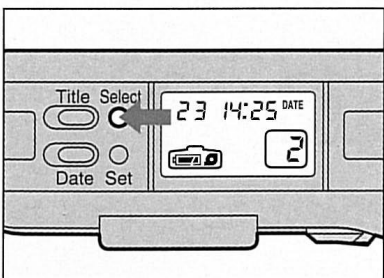
- ストラップ止め具のボタン押し突起を使用します。
- 点滅した数字が正しい数字になるまで押します。



- ④ 全ての数字の設定・修正が終わるまで②と③を繰り返し、最後にSelectボタンを押す。
- 点滅している数字がなくなれば完了です。



- ⑤ Dateボタンを押し、日付+時間モードを表示する。



- ⑥ 全ての数字の設定・修正が終わるまで②と③を繰り返し、最後にSelectボタンを押す。
- 点滅している数字がなくなれば完了です。



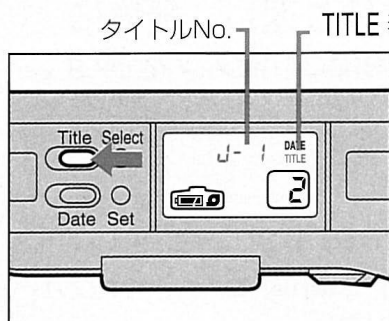
- 電池交換で表示パネルの日付が「----」点滅（デート印字なし）になったときは、日付と時刻の両方を設定してください。



- Setボタンは1回押すと1つ進み、2秒以上押し続けていると連続送りになります。
- 日付+時間モードでは日付を設定・修正できません。

タイトルを記録する

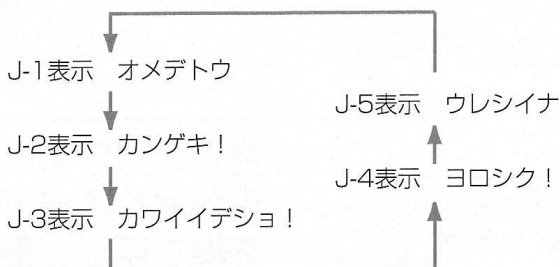
タイトルを写真裏面に印字することができます。タイトルの選択は電源を入れた状態で行います。



Title (タイトル選択) ボタンを押す。

- ➔ 表示パネルに TITLE 表示とタイトルNo.が表示されます。
- ➔ 押すたびにタイトルNo.が変わります。

日本語タイトルの内容



タイトルの記録をやめるには

- Date (デート) ボタンを押し、表示パネルの TITLE 表示を消します。



- タイトルは1枚撮影するとリセットされます。継続したいときは、Title (タイトル選択) ボタンを2秒以上押し、表示パネルの TITLE を点滅表示させてください。
- 文字の大きさ、形状、色、印字位置、対応言語などは現像・プリント店によって変わる場合があります。現像・プリントに出す前にご確認ください。
- デート機能で設定した日付や時刻も同時に記録して印字されます。

各言語のタイトルを選ぶ

TITLE 表示時にSelect (セレクト) ボタンを押すと、タイトルの言語を、日本語J、英語E、フランス語F、ドイツ語D、スペイン語ES、イタリア語Iの順番で6言語から選択できます。

英語のタイトル内容

- E-1 I LOVE YOU
- E-2 THANK YOU
- E-3 SEASON'S GREETINGS
- E-4 HAPPY BIRTHDAY
- E-5 CONGRATULATIONS

フランス語のタイトル内容

- F-1 JE T'AIME
- F-2 MERCI
- F-3 MEILLEURS VOEUX
- F-4 JOYEUX ANNIVERSAIRE
- F-5 FÉLICITATIONS

イタリア語のタイトル内容

- I-1 TI AMO
- I-2 GRAZIE
- I-3 BUONE FESTE
- I-4 BUON COMPLEANNO
- I-5 CONGRATULAZIONI

ドイツ語のタイトル内容

- D-1 ICH LIEBE DICH
- D-2 DANKESCHÖN
- D-3 HERZLICHE GLÜCKWÜNSCHE
- D-4 FRÖHLICHE WEIHNACHTEN
- D-5 FROHES NEUES JAHR

スペイン語のタイトル内容

- ES-1 TE QUIERO
- ES-2 GRACIAS
- ES-3 FELICES PASCUAS
- ES-4 FELIZ CUMPLEAÑOS
- ES-5 FELICIDADES

各言語タイトルの日本語での意味

E、F、ES、I

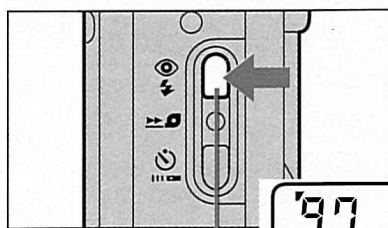
- 1表示 愛しています
- 2表示 ありがとう
- 3表示 メリークリスマス
- 4表示 お誕生日おめでとう
- 5表示 おめでとう

D

- 1表示 愛しています
- 2表示 ありがとう
- 3表示 おめでとう
- 4表示 メリークリスマス
- 5表示 明けましておめでとう

ストロボモードを変える

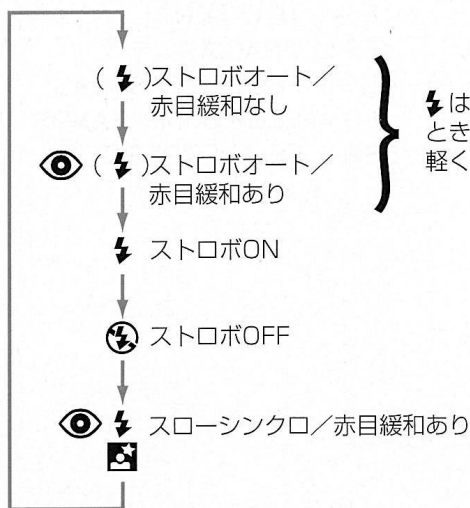
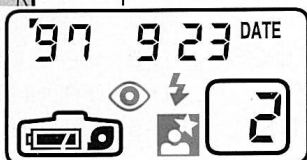
写したいものや撮影場所に合わせて、ストロボを常に発光させたり、ストロボの発光を止めたりすることができます。ストロボモードの変更は電源を入れた状態で行います。



ストロボモードボタン

ストロボモードボタンを押す。

●表示パネルで確認できます。



⚡は、ストロボが自動発光するときに、シャッターボタンを軽く押すと表示されます。

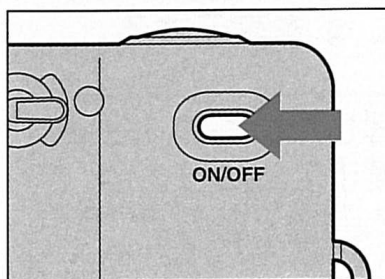


●電源を入れたときに👁️⚡となるように変更したいときは、👁️⚡の状態ですべて電源を切ります。もとに戻すときは、ストロボオート/赤目緩和なしの状態ですべて電源を切ります。

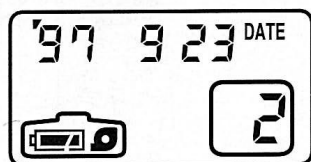
1 ストロボオート／赤目緩和なし

人物以外の撮影、または人物の撮影でも赤目緩和機能を使用せず、すぐにシャッターをきりたいときは、このモードにします。

また逆光時や暗いときは、シャッターボタンを押し込むと同時に自動的にストロボが発光します。



メインスイッチを押し、電源を入れる。




ストロボの届く距離

(ネガカラープリント用カートリッジ使用時)

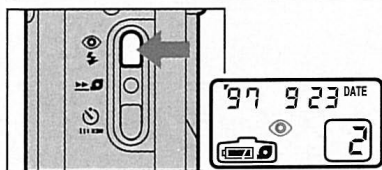
フィルム感度	距離
ISO100	0.45m～3.8m
ISO200	0.45m～5.4m
ISO400	0.45m～7.6m




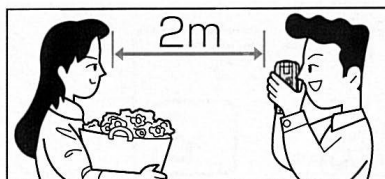
● 表示パネルに  が表示されている場合は、ストロボモードボタンを押して、切り換えます。

2 ストロボオート／赤目緩和...

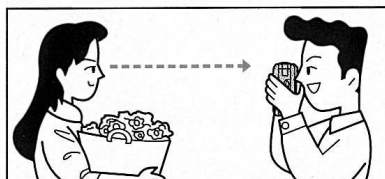
暗い場所などでの撮影で人物の赤目を緩和したいときは、このモードにします。シャッターボタンを押すと赤目緩和ランプが点灯し、ストロボが発光します。(→47ページ)



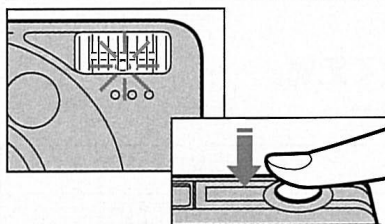
- ① ストロボモードボタン
を押し、表示パネル
に  を表示する。



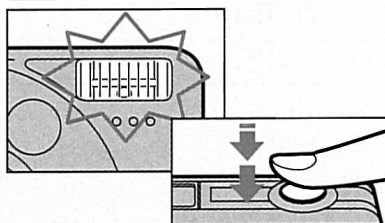
- ② 写したいものに2m程
度まで近づく。
● 赤目緩和ランプは2mまでが
効果的です。



- ③ 声をかけてカメラを注
視してもらう。
● 写される人がまっすぐランプを見
ないと赤目緩和の効果が出ません。



- ④ シャッターボタンを軽く押す。
→ 赤目緩和ランプが点灯します。
このとき約1秒間はシャッター
がきれません。
● シャッターボタンは押したま
まにしてください。



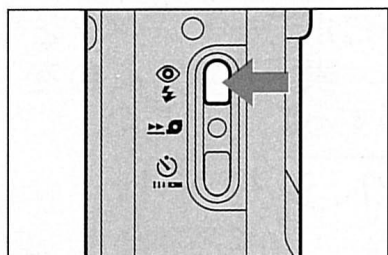
- ⑤ 約1秒間が過ぎたらさ
らにシャッターボタ
ンを押す。
→ ストロボが発光しシャッター
がきれます。

ストロボモードを変える

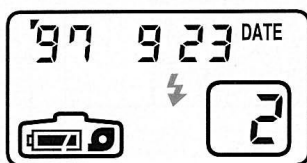
3 ストロボONモード..... ⚡

撮影場所の明るさに関係なくいつでもストロボが発光します。

日中の逆光時や写したいものの影をやわらげるのに有効です。

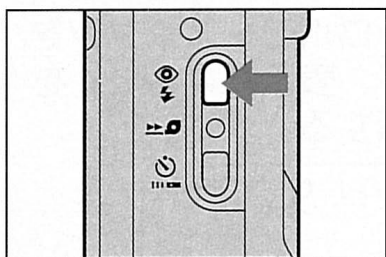



ストロボモードボタンを押し、表示パネルに⚡を表示する。

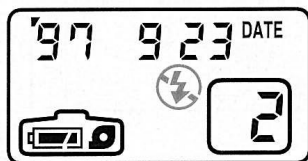


4 ストロボOFFモード

撮影場所が暗くても、ストロボが発光しません。
 夜景の撮影、ストロボ使用が禁止されている場所での撮影、
 室内照明を利用しての撮影をするときに有効です。



ストロボモードボタンを
 押し、表示パネルに  を
 表示する。

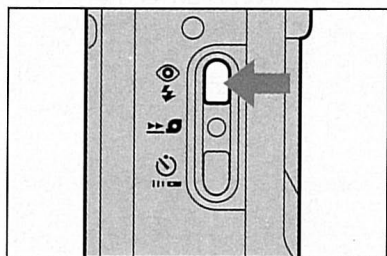




- 暗い場所でのストロボOFFモード撮影は、シャッタースピードが遅く（最長約2秒）なるので手ぶれに注意してください。
- オレンジランプが点滅（手ぶれ警告）したときは、しっかりした台の上に置くか、三脚などを利用してください。

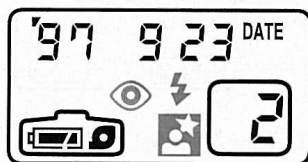
ストロボモードを変える

5 スローシンクロ／赤目緩和 ...

スローシンクロは、夕暮れや夜景などを背景にして人物を撮影をするときに効果的な機能です。シャッタースピードを低速にすることでストロボの光が届かない遠くの背景まで写し込むことができます。



ストロボモードボタンを押し、表示パネルに  と  を表示する。



- スローシンクロでは、シャッタースピードが遅く（最長約2秒）になりますので、必ず三脚などを利用し、カメラを固定してください。また、ストロボが光った後も、写される人がすぐには動かないようにしてください。

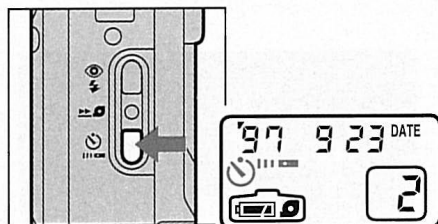


- スローシンクロのときには赤目緩和機能がはたらきます。
- 撮影条件によっては、ストロボオートで撮影したほうがきれいな写真が撮れる場合がありますので、スローシンクロとストロボオートの両方で撮影しておくことをおすすめします。



セルフタイマー撮影

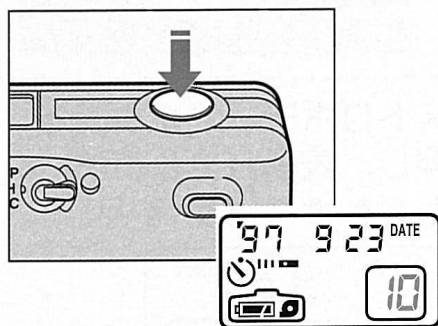


セルフタイマーを使うと、カメラから離れて撮影することができます。カメラはしっかりと台の上に置くか、三脚を利用してください。セルフタイマーとリモコンのセットは電源を入れた状態で行います。



① リモコン／セルフタイマーボタンを押す。

→ 表示パネルに  と  が表示されます。



② 構図を決め、シャッターボタンを押す。

→ 赤目緩和ランプが点滅（1回／秒）し、約10秒後にシャッターが切れます。
→ 表示パネルでカウントダウンします。


セルフタイマーを途中でやめるには

- リモコン／セルフタイマーボタンをもう一度押します。



- カメラの直前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピントがボケる原因となります。

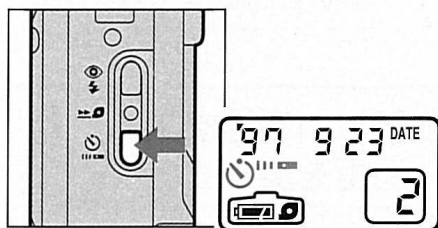
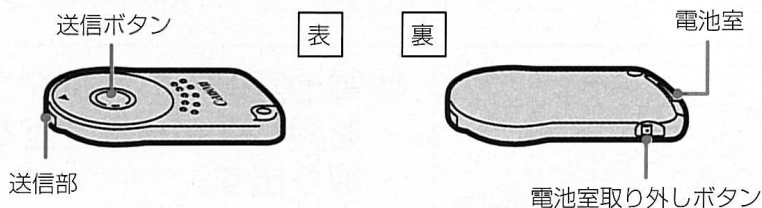


- セルフタイマー撮影は  が表示されている約4分間有効です。
- シャッターがきれる約2秒前になるとランプの点滅がさらに速くなります。ただし、赤目緩和機能がはたらくと、シャッターがきれる約2秒前に点滅から点灯に変わります。

リモコン（別売）を使った撮影

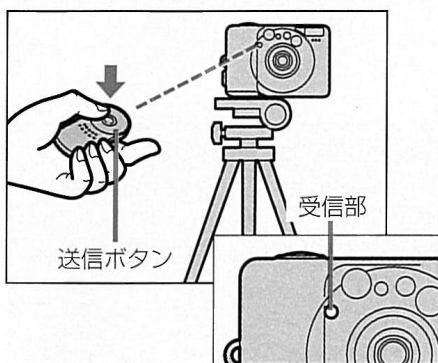
別売のリモートコントローラー（リモコン）を使用するとカメラから離れて撮影できます。

リモコン（RC-5）の各部名称



- 1 リモコン／セルフタイマーボタンを押す。

→ 表示パネルに と が表示されます。



- 2 構図を決めて送信部をリモコン受信部に向け、送信ボタンを押す。

→ 送信ボタンを押すと赤目緩和ランプが点灯し、約2秒後にシャッターが切れます。

リモコンを使った撮影をやめるには

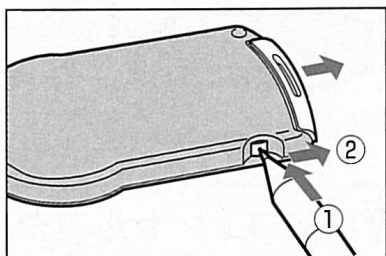
- リモコン／セルフタイマーボタンを押して、表示パネルの と 表示を消す。

リモコン（別売）を使った撮影

リモコンの電池交換

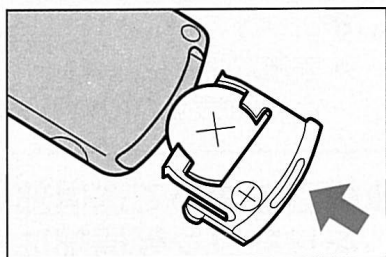
リモコン撮影でシャッターがきれなくなったら、新しい電池と交換してください。

使用電池：リチウム電池CR 2032 3V、1個を使用します。



① 電池室取り外しボタンを押しながら電池室を取り出す。


- ボールペンなどの先端で電池室取り外しボタンを押しながらスライドさせます。



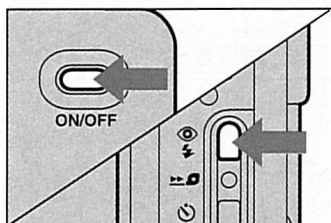
② 新しい電池を入れ、電池室を戻す。

- 古い電池を取り出し＋を正しく合わせて新しい電池を入れます。



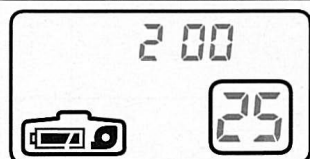
- リモコン撮影が可能な距離は正面から約5mです。
-  が表示されている約4分以内に送信ボタンを押せば、続けてリモコンで撮影できます。
- カメラをしっかりとした台の上におくか、三脚などをご利用ください。
- リモコン受信部に太陽や蛍光灯の光が強くあたっていると、リモコン撮影できないことがあります。このようなときはセルフタイマーで撮影するか、カメラを移動してください。
- リモコン受信状態時にインバータ式蛍光灯が近くにあると、蛍光灯の影響でカメラのリモコン機能が誤作動することがあります。この場合はカメラを蛍光灯から遠ざけて使用してください。

■ フィルム感度と最大撮影枚数の確認方法



メインスイッチを押して電源を切り、ストロボモードボタンを押す。

→ データ表示部にフィルム感度、フィルムカウンターにフィルムの最大枚数が表示されます（左の図は、フィルム感度がISO200でフィルムの最大枚数が25枚の場合）。



■ 赤目緩和撮影機能について

暗い場所で人物をストロボ撮影すると、目が赤く輝いて写ることがあります。これを赤目現象と言い、ストロボの光が目の網膜に反射して起こります。

● 赤目緩和モード時はストロボ発光の前に赤目緩和ランプを約1秒間点灯させることで写る人のひとみを小さくし、赤目現象の発生を緩和します。



● 赤目緩和ランプが点灯するとき、効果を高めるために約1秒間シャッターはきれません。すぐにシャッターをきりたいときはストロボモードボタンで赤目緩和機能をOFFにして撮影してください。





赤目緩和機能で撮影するときの注意

1. この機能は、写される人がランプを注視していないと効果がありませんので、写される人にランプを注視するように声をかけてください。
2. 写したい人から2m以内に近づいて撮影してください。
3. 赤目緩和効果の度合には個人差があります。
4. 室内はできるだけ明るくしてください。

こんなときは

「故障かな？」と思っても、修理に出す前にもう一度次の表でその部分を確認してください。

症状	原因	解決方法	ページ
電池チェックマーク  が点滅する。	● 電池が消耗している。	● 新しい電池と交換する。	30
電池チェックマーク  が表示されない。	● 電池が入っていない。	● 電池を入れる。	30
	● 電池が逆向きに入っている。	● 電池を正しく入れ直す。	30
	● 電池が完全に消耗している。	● 新しい電池と交換する。	30
シャッターがきれない。	● 電源が入っていない。	● 電源を入れる。	20
	● 電池が消耗している。	● 新しい電池と交換する。	30
	● 巻き戻されたカートリッジがカメラに入っている。	● カートリッジを取り出して新しいカートリッジを入れる。	18、 28
	● 赤目緩和ランプが点灯してから約1秒間はシャッターがきれない。	● シャッターがきれいまで押し続ける。 ● ストロボモードをきり換える。	47 38
写真がボケて写っている。	● シャッターをきるときに、AF投・受光部をおおっていた。	● 髪や指などでAF投・受光部をおおわないように気を付ける。	22
	● セルフタイマー撮影などで、カメラの直前に立ってシャッターボタンを押した。	● カメラの直前に立たないように気をつける。	44
	● シャッターボタンを押すときにカメラが動いた（手ぶれ）。	● シャッターボタンを静かに押す。	26
表示パネルに「H」が表示される。	● 自己診断機能で異常を検出した。	● 電池を一度取り出し、「H」表示が消えてから、入れ直す。	30
フィルムカウンターが「0」なのにカートリッジ室ふたが開かない。	● 巻き戻し後のトラブル。	● 途中巻き戻しボタンを押す。	28

Q & A

- Q1 従来の135 (35mm) フィルムは使えますか？
A1 いいえ、使うことはできません。IX240カートリッジフィルムをご使用ください。
- Q2 リバーサルフィルムは使えますか？
A2 はい、使うことができます。
- Q3 フィルム感度 (ISO) とは何ですか？
A3 フィルムが光を感じる度合を数字で表したもので、その数字が大きくなるほど敏感に光を感じます。
- Q4 デートを写し込んだのに、インデックスプリントでは写っていないのですが？
A4 このカメラはデートやタイトルをフィルムに磁気で記録しており、現像・プリント時にそのデータを読みとり、印字します。このため、データはインデックスプリントには写し込まれない場合があります。
- Q5 このカメラの焦点距離26mmを35mmカメラに換算するとどのくらいですか？
A5 約32.5mm (Hタイプ時) となります。

主な仕様

形式	磁気IX機能内蔵、IX240レンズシャッター式 AF全自動カメラ
画面サイズ	16.7×30.2mm
レンズ	キヤノンレンズ26mm F2.8
焦点調整	アクティブオートフォーカス
撮影距離	0.45m～∞
シャッター形式	絞り兼用プログラム式電磁駆動シャッター
ファインダー	実像式ファインダー
ファインダー情報	ファインダー内：C/H/P撮影範囲枠、AFフ レーム、近距離撮影範囲枠
ファインダー接眼部	撮影OKランプ兼近距離警告（緑ランプ）、手ぶ れ警告、ストロボ充電完（オレンジランプ）
フィルム装填	自動（自動空送り付き）
フィルム巻き上げ	自動
フィルム巻き戻し	自動、終了後自動停止、途中巻き戻し可能
フィルムカウンター	順算式、フィルムの移動に連動
セルフタイマー	電子制御式、シャッターボタンにより作動、約 10秒後リリース、ボディ正面セルフタイマー ランプ／赤目緩和ランプ点滅表示、フィルムカ ウンターに残り秒時カウントダウン
リモートコントロール機能	赤外光を利用した専用リモコンシステム 送信ボタンにて作動、2秒後リリース 作動距離範囲：約5m以内 電池寿命 約6000回
測光作動範囲 (ISO 100)	
	ストロボオートモード／ストロボONモード： 1/60 F2.8～1/800 F18 (約EV9～18)
	ストロボOFFモード／スローシンクロモード： 2秒 F2.8～1/800 F18 (約EV2～18)
露出補正	逆光のとき、必要に応じて+1.5段の自動露出 補正
フィルム感度	ISO 25～10000、1/3段ごとに自動セット

内蔵ストロボ 低輝度、逆光時自動発光式内蔵型ストロボ
ストロボ連動範囲 0.45~3.8m
(カラープリント用フィルムISO 100使用時)

ストロボ充電時間 約5秒

ストロボ切り換え ストロボモード切り換えボタンによる

- ① ストロボオートモード：低輝度、逆光時自動発光
- ② ストロボオート赤目緩和ありモード：低輝度、逆光時自動発光
- ③ ストロボONモード：常時発光
- ④ ストロボOFFモード：発光禁止
- ⑤ スローシンクロモード：常時発光

デート／タイトル機能

方式：液晶表示式 クォーツデジタル時計内蔵

オートカレンダー（西暦2029年まで、うるう年自動修正）

記録データ：日付／日付+時間、タイトル（6言語各5通り）

文字形状：プリント店機器の仕様による

印字の色：プリント店機器の仕様による

電源 リチウム電池 CR2タイプ 3V 1個

撮影可能本数 25枚撮りフィルム 約18本

大きさ 89.5 (幅) × 59.8 (高さ) × 23.5 (奥行) mm
*グリップ部の奥行 28mm

質量 125g (電池別)

- ここに記載のデータはすべて当社試験基準によります。
- 都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、裏表紙記載の当社サービス窓口にお問い合わせください。
3. 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社 カメラ販売事業部
〒108-0073 東京都港区三田3-12-15（東急三田ビル8F）

カメラ相談室（製品取り扱い方法ご相談窓口）
〒108-0073 東京都港区三田3-12-15（東急三田ビル8F） ☎(03) 3455-9353

サービスセンター（修理サービスご相談窓口）
〒060-0807 札幌市北区北七条西1-1-2（SE山京ビル1F） ☎(011) 728-0665
〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-6-1（仙台パークビル1F） ☎(022) 217-3210
〒950-0914 新潟市紫竹山1-10-26 ☎(025) 246-8765
〒331-0852 大宮市桜木町4-247（OSビル1F） ☎(048) 649-1450
〒260-0843 千葉市中央区末広2-13-2 ☎(043) 268-5261
〒104-0061 東京都中央区銀座5-9-9 ☎(03) 3573-7834
〒163-0290 東京都新宿区西新宿2-6-1（住友三角ビル地下1F） ☎(03) 3348-4725
〒220-0004 横浜市西区北幸2-6-26（HI横浜ビル2F） ☎(045) 312-0211
〒420-0034 静岡市常盤町2-6-8（トーカイビル3F） ☎(054) 253-9010
〒461-0005 名古屋市東区東桜2-2-1（高岳パークビル1F） ☎(052) 939-1830
〒920-0853 金沢市本町1-5-2（リファール1F） ☎(076) 233-6608
〒604-0847 京都市中京区烏丸通二条下ル秋野々町513（京都第一生命泉屋ビル2F） ☎(075) 255-5953
〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12（梅田センタービル別館） ☎(06) 373-8181
〒651-0096 神戸市中央区雲井通り4-2-2（神戸いすゞリクルートビル8F） ☎(078) 291-0535
〒700-0904 岡山市柳町2-6-25（朝日生命岡山柳町ビル3F） ☎(086) 221-8678
〒730-0051 広島市中区大手町3-7-5（広島パークビル1F） ☎(082) 240-6711
〒760-0027 高松市紺屋町4-10（鹿島紺屋町ビル1F） ☎(087) 823-4681
〒812-0017 福岡市博多区美野島1-2-1（キヤノン販売福岡ビル1F） ☎(092) 411-4173
〒900-0032 那覇市松山1-1-19（安田生命那覇ビル8F） ☎(098) 866-7933

カメラ技術センター（修理サービスご相談窓口）
〒140-0002 東京都品川区東品川1-2-5（東信天王洲ビル5F） ☎(03) 3450-2731
〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央2-5-3 ☎(06) 941-1076

営業所
〒870-0045 大分市城崎町1-3-31（富士火災大分ビル） ☎(0975) 37-4117

休業のご案内

新宿（日曜日、祝日、第3木曜日） その他（土・日曜日、祝日）

営業時間のご案内

新宿：10:00～18:00 梅田：9:30～18:00 その他：9:00～17:30